

説明のしかたについて考えよう

めあて

説明するための工夫をまとめよう。

七だん落	とり方	選び方
テレビのえいぞう	何台ものカメラを用意して、いろいろなうつつし方をする。	目的に応じてアップとルーズを切りかえながら放送する。
新聞の写真	いろいろな角度やきよりから多くの写真をとる。	紙面の広さによって組み合わせる。 ・伝えたい内容に合わせて。 ・目的が一番合うものを選んで記事にする。

七だん落の役割

テレビのえいぞうだけでなく、写真やざつしも送り手の目的に合わせている。

新聞やざつしの写真と文章から、何を伝えたいのかを考えてみよう。

調べたもの	
どんな写真か	伝えたいこと

【7 / 16 時間目 指導略案】 使用するワークシート「説明のしかたについて考えよう」
活動のねらい
【アップとルーズのちがい】

教材文を読み、結論の書き方の工夫に気付くことができるようにする。

1 一〜六段落と七段落の関係を考えながら教材文「アップとルーズで伝える」を読む。

2 七段落の内容を読み取る。

【発問】七段落にはどんなことが書かれているでしょう。一〜六段落の内容と比べてみましょう。

- 一〜六段落 テレビの映像のアップとルーズ
- 七段落 新聞の写真のアップとルーズ

3 結論の書き方を考える。

【発問】筆者は、どんなことを伝えたくて七段落を書いたのでしょうか。「テレビの映像」と「新聞の写真」の「とり方」「選び方」を比べてみましょう。

- 映像だけでなく新聞や雑誌なども、送り手が伝えたいことに応じて、アップやルーズを決めて使っていることを伝えたいから。
- 「終わり」の筆者の考えにつながる。

八段落との関係を考えながら、筆者の意図に迫らせる。

評価 教材文を読み、結論の書き方の工夫に気付いている。(ウ)

4 新聞やざつしでたしかめてみる。

新聞やざつしの記事から、どんな写真で何を伝えたいのか考える。考えたことを基に発表し合う。

この活動は、本時のねらいにかかわる活動ではありませんが、新聞やざつしといった他のメディアでの伝え方に広げる意味で設定しています。

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、これまでの学習をまとめ、説明する文を書く計画を立てることを確認する。